

平成28年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月29日

上場会社名 アートsparkホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3663 URL http://www.artspark.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野崎 慎也
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 伊藤 賢 (TEL) 03-6820-9590
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第2四半期の連結業績(平成28年1月1日~平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第2四半期	2,256	4.6	457	—	430	—	368	—
27年12月期第2四半期	2,157	50.1	23	—	4	—	3	—

(注) 包括利益 28年12月期第2四半期 371百万円(—%) 27年12月期第2四半期 3百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
28年12月期第2四半期	54	53	52	76
27年12月期第2四半期	0	45	0	45

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第2四半期	4,065	69.0	2,846	69.0		
27年12月期	3,602	66.4	2,439	66.4		

(参考) 自己資本 28年12月期第2四半期 2,806百万円 27年12月期 2,393百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年12月期	—	0.00	—	2.00	2.00
28年12月期	—	0.00	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日~平成28年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	3,730	△10.3	320	261.6	305	390.1	267	667.4	26	79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年12月期 2 Q	6,775,220株	27年12月期	6,709,945株
② 期末自己株式数	28年12月期 2 Q	2,975株	27年12月期	2,635株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年12月期 2 Q	6,763,455株	27年12月期 2 Q	6,649,650株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境等の改善を背景に穏やかな回復基調が見られましたが、政府の経済対策や日銀によるマイナス金利導入が実施されたものの急激な円高・株安が進行し、また、海外においては、資源価格の下落や中国をはじめとする新興国経済の減速に加え、英国のEU離脱問題を背景とした経済の不安要素もあることから、先行き不透明な状況が継続しております。

当社グループは、デジタルによるコンテンツの創作からの利用・活用に至るまでの諸活動を、トータルに支援できる環境の提供を経営理念に掲げ、事業を推進しております。

当連結会計年度におきましては、クリエイターサポート事業及びUI/UX事業を中心に注力し、販売・営業活動の推進や提供サービスの拡充を図りながら、引き続き経営体質強化に努めてまいりました。

その結果、当社グループの第2四半期連結累計期間の売上高は2,256,806千円（前年同期比4.6%増）、営業利益は457,416千円（前年同期は23,356千円の営業利益）となりました。

また、経常損益につきましては、支払利息3,147千円、為替差損22,743千円を計上したこと等により、430,974千円の経常利益（前年同期は4,081千円の経常利益）となりました。純損益につきましては、税金費用及び非支配株主に帰属する四半期純損益を控除したことにより、368,846千円の親会社株主に帰属する四半期純利益（前年同期は3,045千円の四半期純利益）となりました。

事業別セグメントにつきましては、以下のとおりであります。

<クリエイターサポート事業>

当第2四半期連結累計期間では、急成長する韓国のマンガ市場に向けて、マンガ・イラスト・アニメ制作ソフトウェア「CLIP STUDIO PAINT」の韓国語版の提供を開始しました。また、国内においては、企業、学校での導入に最適な「CLIP STUDIO PAINT EX スーパーライセンス365」も提供を開始しております。

この他、「CLIP STUDIO PAINT EX」がアニメーション制作会社の株式会社シグナル・エムディのアニメ制作に採用され、また、株式会社アイビスが開発・販売するスマートフォン用絵描きアプリ「アイビスペイント」と「CLIP STUDIO PAINT」が連携可能となり、トップクラスのアプリとソフトの連携により快適な作画環境を実現しました。

なお、インターネットを通じて、イラスト、マンガ、アニメ、小説を制作するクリエイターの創作活動をトータルに支援するサイト「CLIP」においては、平成28年6月末時点の登録者数は65万人となっております。

以上の結果、売上高は565,154千円（前年同期比19.3%増）、営業利益は109,994千円（前年同期比51.8%増）となりました。

<コンテンツソリューション事業>

コンテンツソリューション事業の中心である携帯電話市場におきましては、平成28年3月末で国内携帯電話加入契約数が1億5,648万台（前年比5.8%増）となっております。（社団法人電気通信事業者協会発表「携帯電話・PHS契約数」より）また、平成27年度（平成27年1月～平成28年3月）の国内携帯電話端末総出荷数3,658万台に占めるスマートフォンの割合は79.7%（前年同期比6.5%増）となっております。（株式会社MM総研発表より）

このような経営環境の中、電子書籍ビューア「BS Reader for Browser」と株式会社メディアドゥのコンテンツ配信システム「md-dc」を組み合わせたブラウザビューアソリューションが、平成28年4月より公開された楽天株式会社の「楽天マンガ」に採用されました。また、韓国のNexcube Corp. が同国内向けに提供する電子書籍サイト「PEANUTOON」にて、「BS Reader for Browser」を利用してコマビュー形式の電子書籍の配信を開始いたしました。

なお、総合電子書籍ビューア「BS Reader」が利用されている電子書籍配信サービス数は、平成28年6月末では950サービス超となっております。

以上の結果、売上高は527,562千円（前年同期比6.5%減）、営業利益は38,354千円（前年同期比45.5%増）となりました。

<UI/UX事業>

当第2四半期連結累計期間では、HMIの基盤であるUIオーサリングツール「exbeans UI Conductor」のHMIツール及びランタイムソフトウェアを用い、QNX社のQNX CARプラットフォームに搭載したメータークラスター向けソリューションを開発し、東京ビッグサイトにて開催された「組込みシステム開発技術展」のQNXブースでの展示を行いました。

また、ドイツのベルリンで開催された「CAR HMI EUROPE 2016」に欧州自動車関連企業とともにセッションスピーカーとして参加し、自動車業界における「Tier-1」（一次サプライヤー）メーカーとして、自社IP製品を核とするビジネス創出を推進いたしました。

この他、7月以降に見込んでおりました売上が前倒し計上となったこと等により、売上高は1,174,587千円（前年同

期比4.4%増)、営業利益は301,041千円(前年同期は95,622千円の営業損失)となりました。

また、前期より推進している事業構造改革の一環といたしまして、平成28年6月23日に、連結子会社株式会社エイチアイ関西の保有株式の全株式を譲渡する決議をいたしました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べて462,390千円増加し4,065,312千円となりました。この主な要因は、ソフトウェアが85,793千円、ソフトウェア仮勘定が39,295千円、投資有価証券が45,288千円減少した一方で、現金及び預金が598,098千円、売掛金が25,694千円、仕掛品が42,644千円増加したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べて56,149千円増加し1,219,265千円となりました。この主な要因は、買掛金が34,391千円、短期借入金が26,642千円、1年内返済予定の長期借入金が22,132千円減少した一方で、未払法人税等が49,762千円、賞与引当金が56,688千円、長期借入金が26,843千円増加したこと等によるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べて406,240千円増加し2,846,046千円となりました。この主な要因は、資本金が29,298千円、資本剰余金が29,298千円、利益剰余金が355,431千円増加したこと等によるものであります。なお、自己資本比率は、69.0%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、760,245千円(前年同四半期は287,613千円の獲得)となりました。これは主として、たな卸資産の増加額45,091千円や仕入債務の減少額34,391千円等があったものの、税金等調整前四半期純利益の計上424,352千円や減価償却費の計上309,022千円、賞与引当金の増加額56,688千円等の資金の増加要因があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、189,922千円(前年同四半期は287,077千円の使用)となりました。これは主として、ソフトウェア等の無形固定資産の取得による支出176,798千円、有形固定資産の取得による支出9,941千円等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、25,961千円(前年同四半期は11,464千円の獲得)となりました。これは主として、短期借入金の返済による支出316,642千円、長期借入金の返済による支出65,289千円があったものの、短期借入れによる収入290,000千円、長期借入れによる収入70,000千円、株式の発行による収入48,812千円等があったことによるものであります。

この結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結累計期間末残高は、1,843,275千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間の業績は、売上高及び損益面についても当初予想を上回ることとなりましたが、経営成績に関する説明に記載のとおり、7月以降に見込んでいた売上の前倒しの計上であること、当社グループの事業の特性として四半期毎の業績に変動があることを踏まえ、平成28年2月12日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。なお、今後経営環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法としております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号平成25年9月13日)等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号平成28年6月17日)を当第2四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,323,640	1,921,738
売掛金	490,332	516,026
製品	3,809	4,009
仕掛品	80,054	122,699
原材料及び貯蔵品	24,714	26,960
その他	169,218	141,495
貸倒引当金	△6,224	△7,227
流動資産合計	2,085,545	2,725,702
固定資産		
有形固定資産		
建物	65,181	66,474
減価償却累計額	△38,966	△41,118
建物(純額)	26,214	25,356
工具、器具及び備品	209,170	220,140
減価償却累計額	△182,527	△190,126
工具、器具及び備品(純額)	26,642	30,013
有形固定資産合計	52,857	55,369
無形固定資産		
ソフトウェア	899,468	813,675
ソフトウェア仮勘定	277,192	237,896
その他	32,414	32,974
無形固定資産合計	1,209,075	1,084,547
投資その他の資産		
投資有価証券	103,449	58,160
敷金及び保証金	112,536	111,902
その他	36,413	27,803
投資その他の資産合計	252,399	197,866
固定資産合計	1,514,332	1,337,783
繰延資産	3,043	1,826
資産合計	3,602,921	4,065,312

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	149,730	115,339
短期借入金	349,994	323,352
1年内返済予定の長期借入金	123,147	101,015
未払法人税等	6,591	56,353
返品調整引当金	2,305	2,634
賞与引当金	77,651	134,340
その他	266,462	265,703
流動負債合計	975,882	998,737
固定負債		
長期借入金	87,011	113,854
退職給付に係る負債	91,273	97,893
繰延税金負債	917	749
その他	8,031	8,031
固定負債合計	187,233	220,527
負債合計	1,163,115	1,219,265
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,024,122	1,053,421
資本剰余金	503,249	532,548
利益剰余金	867,258	1,222,690
自己株式	△1,786	△2,539
株主資本合計	2,392,843	2,806,119
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	861	561
その他の包括利益累計額合計	861	561
新株予約権	34,636	24,708
非支配株主持分	11,463	14,657
純資産合計	2,439,806	2,846,046
負債純資産合計	3,602,921	4,065,312

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
売上高	2,157,480	2,256,806
売上原価	1,482,564	1,286,117
売上総利益	674,915	970,689
返品調整引当金戻入額	3,149	2,305
返品調整引当金繰入額	888	2,634
差引売上総利益	677,176	970,360
販売費及び一般管理費	653,820	512,944
営業利益	23,356	457,416
営業外収益		
受取利息	188	144
受取配当金	347	425
その他	465	2,709
営業外収益合計	1,001	3,279
営業外費用		
支払利息	7,467	3,147
為替差損	1,986	22,743
持分法による投資損失	7,195	-
その他	3,628	3,830
営業外費用合計	20,276	29,721
経常利益	4,081	430,974
特別利益		
新株予約権戻入益	145	145
子会社株式売却益	36,109	-
特別利益合計	36,254	145
特別損失		
投資有価証券売却損	10,546	-
投資有価証券評価損	-	6,766
事務所移転費用	12,426	-
その他	1,364	-
特別損失合計	24,337	6,766
税金等調整前四半期純利益	15,998	424,352
法人税等	12,405	52,144
四半期純利益	3,593	372,208
非支配株主に帰属する四半期純利益	547	3,362
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,045	368,846

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	3,593	372,208
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	262	△300
その他の包括利益合計	262	△300
四半期包括利益	3,855	371,908
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,307	368,545
非支配株主に係る四半期包括利益	547	3,362

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	15,998	424,352
減価償却費	276,836	309,022
株式報酬費用	2,114	-
新株予約権戻入益	△145	△145
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,331	1,003
賞与引当金の増減額(△は減少)	48,154	56,688
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△2,261	329
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	6,490	6,620
受取利息及び受取配当金	△536	△569
支払利息	7,467	3,147
持分法による投資損益(△は益)	7,195	-
投資有価証券評価損益(△は益)	-	6,766
投資有価証券売却損益(△は益)	10,546	-
子会社株式売却損益(△は益)	△36,109	-
売上債権の増減額(△は増加)	46,760	△25,694
たな卸資産の増減額(△は増加)	55,818	△45,091
仕入債務の増減額(△は減少)	△38,679	△34,391
その他	△83,713	63,784
小計	313,604	765,823
利息及び配当金の受取額	548	569
利息の支払額	△8,067	△2,980
法人税等の還付額	1,894	3,588
法人税等の支払額	△20,366	△6,756
営業活動によるキャッシュ・フロー	287,613	760,245
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,811	△1,813
有形固定資産の取得による支出	△6,748	△9,941
無形固定資産の取得による支出	△309,041	△176,798
貸付けによる支出	-	△1,369
貸付金の回収による収入	900	-
投資有価証券の売却による収入	3	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	22,688	-
敷金の回収による収入	6,933	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△287,077	△189,922

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	455,000	290,000
短期借入金の返済による支出	△363,002	△316,642
長期借入れによる収入	-	70,000
長期借入金の返済による支出	△89,551	△65,289
株式の発行による収入	9,628	48,812
自己株式の取得による支出	△471	△752
非支配株主への配当金の支払額	△140	△168
財務活動によるキャッシュ・フロー	11,464	25,961
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	12,001	596,285
現金及び現金同等物の期首残高	1,013,710	1,246,990
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,025,711	1,843,275

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	クリエイターサポート事業	コンテンツソリューション事業	UI/UX事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	473,808	558,168	1,125,503	2,157,480	—	2,157,480
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	5,965	—	5,965	△5,965	—
計	473,808	564,134	1,125,503	2,163,445	△5,965	2,157,480
セグメント利益又はセグメント損失(△)	72,467	26,365	△95,622	3,210	20,146	23,356

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社収益、全社費用の純額であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

平成27年6月15日付で株式会社エイチアイが、株式会社U'eyes Designの株式を売却したことにより、UI/UX事業においてのれんが100,622千円減少しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	クリエイターサポート事業	コンテンツソリューション事業	UI/UX事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	565,154	517,064	1,174,587	2,256,806	—	2,256,806
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	10,498	—	10,498	△10,498	—
計	565,154	527,562	1,174,587	2,267,304	△10,498	2,256,806
セグメント利益	109,994	38,354	301,041	449,390	8,025	457,416

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない全社収益、全社費用の純額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、社内業績管理区分の見直しを行った結果、アプリケーション事業とUI/UX事業を集約し、UI/UX事業として表示する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分方法により作成したものを記載しております。